



菊川市議会だより

議会のひろば

2022.8.18 No. 7 1

今月の
特 集

本年15回目を迎える田んぼアート
田んぼアート実行委員会の皆さまに聴きました

特集	P01
6月定例会概要	P04
一般質問	P06
政務活動費報告	P12
議会活動レポート	P13
みんなの声	P14
きかせてママの声他	P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

本年15回目を迎える田んぼアート

田んぼアート実行委員会の皆さまに聴きました

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、田んぼを巨大なキャンパスに見立て、色の異なる稲を使い巨大な絵や文字を作り出す田んぼアートに対する想いを実行委員会の皆さまに聴きました。

田んぼアートで

「地域農業の振興と活性化を図り観光の1つの要素」としたい

〈田んぼアートを始めたきっかけや動機は？〉

・田んぼアートは、田んぼを巨大なキャンパスに見立て、色の異なる稲（古代米の早生7種類程度）を使って、巨大な絵や文字を作り出すプロジェクトです。1993年に青森県南津軽郡田舎館村の村おこし（地域

活性化事業の1つ）として田んぼアートが始まりました。この活動に共鳴を受けた稲荷部の池田正さんが起こした「いなかんべ村」で知人やJA婦人部、観光協会などから有志を募り、取り組んだことが、菊川市の田んぼアートの始まりです。本年度15回目を数えています。2010年以降になると田んぼアートは全国に広まり、全国田んぼアートサミットが毎年開催されるようになりました。

〈実行委員会はどのような組織ですか？〉

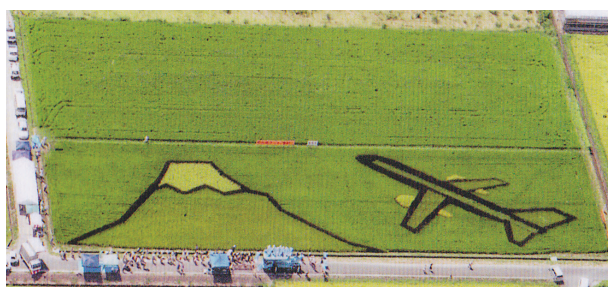
・実行委員会会長である池田さんを筆頭に、地元有志約10名と菊川市観光協会、協賛団体としてJA遠州夢咲菊川中央支店や菊川営農経済センター、JA夢咲内田営農教室など約30名で組織しています。誰でも会員になれるので、多くの方に参加していただけるように広く募集しています。現在は、15周年の記念誌の発刊に向け、作成や編集作業に取り組んでいます。

〈記念誌の発刊は？〉

・実行委員会設立の経緯や地域活性化を目指した活動の歴史、市政15周年に合わせて開催した「全国田んぼアートサミットin菊川」などを紹介することにより、菊川市の観光資源として成長を遂げた15年間の活動の軌跡を多くの方に知っていただき、地域農業の活性化を目指すとともに、田んぼアート鑑賞者やイベント参加者の拡大に繋がっていきたいです。



田んぼアート観賞用展望やぐら



2008年「富士山と飛行機」
初回に作成した田んぼアート

〈事業運営の財源はどうしていますか?〉

・やぐら鑑賞の入場料（200円）と菊川市1%交付金事業（地域支援課）や稲荷部環境自然保全クラブの「美しく品格のある邑づくり」からの支援があり、財源の苦しい中多くのボランティアに支えられ活動しています。

〈アート作品のテーマ決めは?〉

・菊川市に関係ある話題や出来事、近年の社会情勢に関連したものをテーマとして、モチーフ（題材）を決めています。これまでのモチーフは、静岡空港やきくのん、竜馬、きかんしゃトーマス、ウルトラマンなどがあります。なお、著作権の使用に関しては、JAの「家の光協会」や菊川市茶業協会に協力をいただきました。



【感想】静岡の友人の勧めもあり、朝5時に出発しバイクで厚木から来ました。やぐらの上からの見学はとても良かったです。

田んぼアート活動の流れ

冬場 テーマの選定や3次元キャド技術を利用した図面の作成

種粃（古代米）の注文

4月20日頃 種蒔き

5月上旬（田植えの一週間前）

代掻き：田に水を入れならす作業

棒立作業の測量（1日15人3日程度）

5月15日頃

田植え作業（子ども達を交えて地域や有志の皆さんが協力）

（随時 補植作業）

6月15日頃 やぐら鑑賞開始

7月15日頃 田植え後2か月程度で見頃

9月 収穫祭（稲刈り）

・田んぼアートに使用する古代米の粃については、青森県農業技術センターと青森県田舎館村より購入しており、1キロ8000円です。また、前年度の残りや収穫した粃を使用すると色があせ、ボケてしまうため残り等は使用しません。

・種蒔きは、4月の中旬に実行委員会の会員で行い、発芽から苗の育成まではJAの育苗センターに管理をお願いしています。

〈イベント開催時の子ども達や参加者の反応は?〉

・田植えには、子どもを始め多くの方に参加して頂いています。泥だらけになってしまいうので、洗浄やシャワーの設備が必要となり水の確保に苦労しています。

・鑑賞会への来場者は、地元菊川市や近隣の掛川市の方に多く来場していただいており、メディアで取り上げられた後は特に集中して多くなります。

・5月中旬の田植え時には、袋井市の「とりたて食楽部（クラブ）」の皆さま（約40名）が、バスを準備し親子で参加しています。



絵柄を遠近測量によるポイントに従い田植え

〈市内の子ども達との関わりはありますか？〉

・地元の内田小学校5年生は、総合学習の食育活動で、田んぼアートとは別に田植えを経験しています。早苗の植え方や育て方・稲の種類など、田んぼアートとは色々な違いがあるという事が、子ども達の疑問や関心となっており、研修を兼ねた見学会を毎年実施しています。

・今後は、教育委員会を通して市内小学校の田植えや稲刈りへの参加の呼びかけを行っていきたいです。また、本年度新たな試みとして、市内の小学生に対して見学会の無料招待券を配布しました。

〈「全国田んぼアートサミットin菊川」を開催して感じたことは？〉

・全国の田んぼアート26団体、約500名が参加して、文化会館アエルで全国田んぼアートサミットを開催しました。講演会後には現場見学会や懇親会を開催し、最後に次期開催地の紹介及び再会を誓い閉会となりました。サミットでは、田んぼアートの苦労話やお国自慢など情報交換に花が咲き、親睦を深めることができました。

〈15年間継続の秘訣は？〉

・鑑賞会来場者等から「次回は、どんなテーマで何をやるの？」という期待の声が多く、期待に応えたいという気持ちが活力になっています。

・一つひとつの事業が完了した時の達成感は何物にも代えがたい。また、地域の皆さんや各団体・有志の皆さんの協力があったこそその継続です。

〈「田んぼアート菊川」を一言で言うとう？また、実行委員長の大役を長く続けておられますが、出身は九州と伺っている。会長にとって菊川市とは？〉

・「田んぼアート菊川」を一言で言うとう、「地域農業の振興と活性化を図り観光の一つの要素として大きくしたものだ」と思っています。菊川市は、緑が多く自然がいっぱいで良い所です。

〈今後も田んぼアートを続けるための課題は？〉

・高齢化に伴い事業の継続や後継者の問題があります。地元有志やJA等の支援団体、菊川市を巻き込んだ「新たな組織の立ち上げ」が必要と感じています。

・田んぼアートの会場選定に苦労しています。圃場（田んぼ）の場所や規模、駐車場の確保、水道や電気設備等が必要となります。

〈田んぼアートの活動を続けてきて良かったことや苦労したことは？〉

・続けてきて良かった事は、多くの方が見学に訪れてくれて、たくさんの方と出会えた事です。

・苦労した事は、田んぼアートが鑑賞できる、適した圃場がなく苦労しました。

ご協力ありがとうございました。



取材の協力を頂いた
田んぼアート実行委員会の皆さま

概要

6月定例会

会期 26日間 令和4年5月30日～6月24日

請願 1件	議案 10件	報告 3件	諮問 2件
----------	-----------	----------	----------

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	東和子	須藤有紀	渡辺修	渥美嘉樹	坪井仲治	織部ひとみ	小林博文	横山陽仁	織部光男	西下敦基	赤堀博	鈴木直博	倉部光世	山下修	内田隆	横山隆一	松本正幸
請願4-2	新たな廃棄物処理施設整備に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（松本正幸）は採決に加わらない。
すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。

審査ピックアップ 議案第29号

菊川市一般会計補正予算（第3号）

令和4年度の事業を行うにあたり、当初予算に過不足が生じたものについて、その内容や理由を確認し、審査しました。

審査において
こんな質問がされました

米を計画しており、伐採工事と並行して埋蔵文化財の発掘調査を予定している。

◎ 社会資本整備総合交付金

事業市道赤土高橋線において、工事費を増額したが、市の施工部分は今年度開通されるのか。また、具体的な工事内容は、

◎ 高橋地区で事業着手している0・7キロ区間内で地権者との用地契約が合意に至ったため、工事費を増額し事業進捗を図る。今年度中の工事完了は難しく開通には至らないが、1日も早い供用開始を目指していく。具体的な工事内容は、伐採工事8461平米と切土工事1万5000立

◎ 新型コロナウイルスワクチン予防接種の4回目接種の予定人数と期間は、

◎ 4回目接種は重症化予防が目的となっており、対象者は、3回目接種完了後5ヵ月以上経過した4回目接種を希望される60歳以上の方、また18歳以上59歳以下で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方で約1万7000人を見込んでいる。接種期間は、9月30日金曜日までである。

健康増進事業費について、食糧支援の実績と今後の見込みは。

事業開始から本年度5月末までに食糧支援は311世帯502人分、パルスオキシメーターの貸出しは56世帯に行った。うち、本年度分は食糧支援82世帯133人分、メーターの貸出しは16世帯である。今後の見込みは、事業を再開した1月中旬から4月末までの実績、食糧支援409人、メーター40世帯を基に、食糧支援は月100セット、メーターは月15世帯分の返送費用を見込み、7月から9月分の3カ月分を予算計上した。



自宅療養食料支援品

菊川流域治水対策事業において、治水対策の具体的構想内容と委託先の業者は。また、実施までのスケジュールは。

今回の黒沢川・棚草川流域治水対策検討業務は、平成10年9月の秋雨前線停滞及び令和元年10月の台風19号の豪雨と同程度の雨が降った際に、黒沢川・棚草川流域のどこに、どの程度の規模の貯留施設を整備することが効果的であるかを検証し、治水対策の目標規模及び治水対策案の選定を目的として委託する。

委託先は、指名委員会でのコンサルタント会社の選定を予定している。実施までのスケジュールは、業務委託を7月に契約し作業に入る。作業後、治水対策の目標規模及び治水対策案に基づき事業費を算出し、早期の事業着手に向けスケジュールを計画していく。

審査 ピックアップ 議案 第33号

菊川市一般会計補正予算（第4号）

国のコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」交付金を活用し、物価の高騰などにより影響を受ける市民、子育て世帯や事業者に広く支援するための補正予算第4号です。その内容や理由を確認し、審査しました。

④ 前回の水道料金軽減事業では軽減に気づかない市民がたくさんいたと聞いたが、市民へ分かりやすい周知が必要不可欠ではないかと思うが、今回の周知方法は。

④ 前回は、広報等に周知を掲載できなかった。今回は、検針票のお知らせ欄に減免の案内をするとともに、広報菊川8月号に掲載し、ホームページや茶こちゃんメール等も活用し市民に周知をしていく。

④ プレミアム商品券のプレミアム率を60%から100%に変更した根拠と商品券利用開始までのスケジュールは。また、購入見込世帯増の根拠は。

④ 物価高騰の影響を考慮し、各メーカーから発表されている値上げ率が10%から20%、ガソリンは約30%などの状況を踏まえ、利用可能額を25%拡大することでプレミアム率を100%と設定した。スケジュールは、商品券印刷や事業者の募集などに時間が必要であるため、10月頃から商品券を販売し1月末までを利用期間とする予定である。また、昨年度のプレミアム商品券事業で利用しなかった理由の中に「もっとお得なら買う」などの意見があり、今回のプレミアム率拡大によりお得と感じ購入者が増加することを想定し購入見込率を増やした。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。
(令和4年6月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：12名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。



関係人口拡大で住みやすいまちへ

小林 博文(みどり21)

住みやすいまちを一緒につくる人を増やすため、本市に関心を持って関係人口を拡大する必要性を問う。

Q 関係人口の必要性をどの様に捉えているか。また、優先順位は。

A 関係人口は、移住した定住人口や観光にきた交流人口でない、地域と多様に関わる人々を指す、国と同様の位置づけ。それぞれの人口を増やす施策は相互に関連しており、優先順位はないが、重要な取り組みと認識している。

Q イベント等のスタッフ確保や、後継者育成への支援策は。

A 市民協働センターで人材育成やスキルアップ講座等を実施している。コロナ禍の長期化により、コミュニティの維持・強化は重要であり、活性化に向けアドバイザーの派遣や交流会、イベントなどを開催していく。

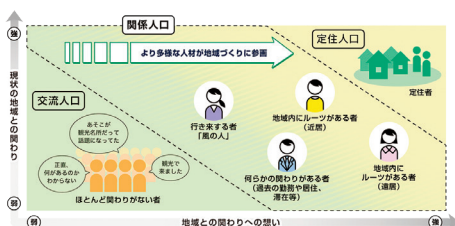
Q 本市に関わりたい人をいち早く取り込む考えや、イベント等の労働力・後継者不足の改善を図る考えは。

A 関係人口創出・拡大のため、SNS等を活用した魅力発信や市民活動支援などを行っている。本市と関わりある人との結びつきを深めるため、「きくがわ応援団(仮称)」の立ち上げを計画している。

Q 関係人口の必要や拡大施策を市の計画に盛り込む考えはないか。

A 第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に事業が位置付けられている。今後、次期総合計画策定時に位置づけや指標の設定等を検討する。

他に「公共交通とオンデマンドサービス」について質問しました。



男女共同参画の更なる推進について

坪井 仲治（みどり21）



社会基本法第2条によると、男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うべき社会」と謳われています。菊川市では、第4次男女共同参画プランをこの考え方を基本として、スタートさせた。

❶ 事業所としての男女共同参画に対する市役所の取り組みは。

❶ 市役所では、出産や育児の際に利用できる休暇制度等をまとめたハンドブックを作成し、周知をしている。結果としては出産にもなう離職はなく、男性職員の育児休業取得率も伸びてきている。

❷ 地域社会における男女共同参画の推進で、地域活動や地域づくりのプロセスに女性の意見を取り入れ反映できる体制の構築、特に

自治会への参画の推進に関する施策は。

❶ 連合自治会組織への女性の起用については、今後の検討課題とする。

❷ 固定的な性別役割分担意識や性差に関する固定観念、無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）をなくすための事業は。

❶ 学習指導要領に基づいて、性教育を小学校や中学校の保健の授業を中心に行っている。思春期における性意識の変化と性に関する適切な態度や行動の選択など、自ら考え判断する意思決定の力を育てている。



地域の交通安全の取組み

西下 敦基（市民ネット）



交通安全対策は様々な機関が関係していることもあり、情報を一元化して、最適な対策・対応を行うていくことが重要である。

❶ 仮称「菊川市通学路危険箇所マップ」の公表や「要対策箇所整備進捗リスト」を学校ごとで活用できているかなど取り組みの現状は。

❶ 毎年度実施している交通安全対策検討会の結果に基づき関係部署と通学路点検箇所の公表方法について検討を重ねており、先進地事例を参考に研究しているところである。

各学校ではリストではなく通学路安全対策調査表により自治会長やスクールガードに連絡することや、危険箇所を児童生徒に直接指導するために活用している。

❷ 国土交通省の情報では、交通事故死者数全体の約半分が歩行中や自転車乗用中で、さらにその半数が自宅から500m以内となっている。一方、自動車の速度が時

速30km以下の場合、死亡事故の確率は4分の1に大幅に減少している。現状、スピードを出して通り抜けが行われる危険な生活道路があると感じており、最高時速30kmの区域制限を設定していくことを地域と検討していくべきと考えるが見解は。

❶ 通り抜けが行われている危険な生活道路がある場合は、自治会から地域支援課へ情報を提供していただいている。地域と市、交通規制を行う警察で現状を確認しながら必要な対策を協議している。

他に「防災力向上と懸念事項」について質問しました。



自治会長の業務のあり方

東 和子（みどり21）



自治会長を引き受けると決まり、仕事を退職したという事例が身近にある。このような現実を菊川市としてどのように対応していくのが質問した。

Q コロナ禍で私たちの生活も変化している中、市として自治会長業務の在り方をどのように検討していくのか。

A 「自治会の負担軽減」をテーマに全庁的に取り組み、自治会への依頼事項の洗い出しや見直しを行っている。連合自治会とも引き続き協議し、本年度中には自治会の負担軽減に関する方針を策定する。

Q 地区によっては人口の年代別構成に偏りが生じ、人材の選定に困難なところも出ている。今後、自治会長の選定制度の在り方や調整も不可欠と考えるが見解は。

A 自治会長の選出は、自治会ごとに規約等において選出方法を定めており、自治会長の選出制度の

在り方の検討や調整を市が実施することは考えていないが、業務多忙を理由とした自治会長のなり手不足を少しでも解消するため、自治会の負担軽減に全庁を挙げて取り組みんでいく。

Q 自治会活動についての意見や要望にどう対応していくのか。

A 自治会のコミュニティ活動は、新型コロナウイルス感染症の新しい生活様式に沿った地域活動をサポートしていく。

他に「コロナウイルス感染症対策及び学校におけるサポート体制」について質問しました。



農地付き空き家対策について

横山 隆一（日本共産党）



空き家により公衆衛生の悪化など様々な問題が出る。空き家等対策の推進に関する特別措置法が交付された。当市でも、空き家対策計画が策定されているが深刻なのが「農地付き空き家」だ。空き家と同様に適切な管理が求められる。

Q 住宅土地統計調査による「その他住宅990戸」のうち、農地付き空き家数は。建築物・農地の実情と課題は。

A 農地付き住宅は調査対象外のため把握していない。農地は法律の制限があり簡単に処分出来ず荒廃農地化が課題である。

Q 空き家バンクを通じた「農地付き空き家」の提供により、移住希望者を呼び込む自治体が増えている。農地の権利取得には農業委員会の許可が必要だが、空き家に付随する農地に「別段の面積」を設定する必要がある。農地バンクの実情は。

A 農地バンクの活用は重要であ

り農業委員会と連携し対応する。下限面積についても農業委員会でも検討していく。

Q 当市では「空き家等対策計画」が策定されているが、今後増え続けることが予想される農地付き空き家対策の実効性を高めるための条例制定は。

A 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき適正に管理しており、空き家等の所有者からの相談には助言や指導も行っていることから条例制定の必要はないと考えている。

他に「民間活力の活用と住民周知」について質問しました。

空き家



菊川市のヤングケアラーの状況

織部 ひとみ（みどり21）



令和4年4月に策定された「第2次菊川市総合計画第6次実行計画」では、菊川市の将来像「みどりときめき たしかな未来菊川市」の基本目標1に「子どもがいきいき育つまち」とある。いつの時代でも子どもは未来の宝であるが、核家族化や高齢化、独り親家庭の増加といった家族構成の変化も背景にあり、18歳未満の子ども達が家族の介護や世話など日常的に行うヤングケアラーの菊川市の実態について質問した。

❶ 菊川市の現状把握や課題認識を把握するため、ヤングケアラーの実態調査は行ったか。

❶ 菊川市独自での調査は行っていないが、静岡県で昨年度末に県内の小学生、中学生、高校生を対象に実態調査を行い、調査結果を6月に公表した。ヤングケアラーは家庭内のプライベートな問題であり、学校の先生方と連携し、支援が必要な子どもの把握に努めている。

❷ 支援体制としてヤングケアラー向けコーディネーターの設置や相談窓口の設置は。

❶ ヤングケアラー向けコーディネーターは配置していないが、社会福祉士、精神保健福祉士を設置し、家庭や学校からの相談を受けている。

❷ ヤングケアラーの社会的認知度の向上への啓発体制は。

❶ 子ども自身がヤングケアラーを理解し、自ら気づき相談できるようポスターの掲示やリーフレットの配布等、関係機関と広く連携し啓発を行っていく。



水田の有効利用に向けて

山下 修（みどり21）



❶ 菊川市における水稲の作付け状況はどうか。

❶ 平成22年度の調査結果では、田の総面積が1120ヘクタールで水田は810ヘクタール、利用率は72.3%、生産量は4320トン。平成31年度は、1070ヘクタール、水田は727ヘクタール、67.9%、生産量3900トンであり、利用率、生産量ともに減少している。

❷ スマート農業に向けたトレーサビリティシステムとは。

❶ ICTを活用してパイプラインからの水の管理や圃場にカメラを設置し、作物の生育状況や異常を把握し、スマートフォンやタブレットに送信するシステムである。さらに労力を減らすことのできる取り組みを普及・推進していく。

❷ 水田を利用した複合経営や裏作物の耕作状況はどうか。

❶ 枝豆やトウモロコシ、レタス等を栽培している。冬物レタスの栽培は、農業者・法人を合わせて

平成30年産で105ヘクタール、令和2年産においては139ヘクタール、生産量3960トンと増加している。

❷ 複合経営や裏作経営に必要な水田の排水性向上の促進は。

❶ 池村地区で地下水位を制御できる暗渠排水フォアスを県下で初めて導入した実績がある。本年度から着手する川西地区では、暗渠排水や用水のパイプライン化を予定しており、他地区でも実施に向けて話し合いをしている。



乾電池を電源としたパイプラインからの自動給水

菊川市の農業の課題

渡辺 修（みどり21）



Q 「みどりの食料戦略」では化学農薬50%低減、化学肥料30%低減、有機農業割合を25%に拡大と実現性に乏しく特に有機農業を25%に拡大することは極めて困難であると思われるが菊川市としてどのような姿勢で臨むのか。

A 大変厳しい目標であると認識しているが、農業に携わる全ての人々に戦略を理解していただくことが重要と考えている。また、目標達成に向けて農業者の意見等を聞きながら取り組んでいきたい。

Q 菊川市特産作物を選定中であるが、この特産作物を菊川農業振興の戦略として位置づけ、活用していくことはできないか。

A 試験栽培の結果を踏まえ、昨年度から地域特産作物の見直しを行い、地域農業者やJAの意見を聞き検討を進めている。また、新規就農や複合経営等によどのような作物が適しているか検討している。

Q 菊川市は、茶産地である牧之原台地や水田が広がる南部地域、



お茶の収穫

比較的気温が低い北部地域、それぞれ適した農産物があり、有効的に検討すれば、効率よい農業地域として発展できるのではないかと。
A 農業の喫緊の課題は、地域農業を支える担い手不足であり、農業の効率化・省力化につながる農地の集積・集約への取り組みが重要であるため推進しており、担い手の農地の集積・集約は、地域に適した農作物が栽培され、ブロッコ化につながると考えている。

その他に「インボイス制度の茶業への影響」について質問しました。

公共屋外エリアでの市民活動支援

倉部 光世（市民ネット）



活動の多様化で市民活動と営業活動の線引きが難しい今、公共空間は利用の幅を広げ有効に活用することが重要。行政は市民が自ら行うにぎわい活動の支援をすることが求められている。

Q 施設により担当課が違うが、各課営利目的等による使用許可判断を行うのは誰か。また、庁内で統一した見解があるか。

A 条例等に則り個別具体の案件に即し必要に応じ課長判断している。できる限り利用の幅を広げ有効活用していくことが重要であるため、内規を整理し早い段階で返事ができる体制をつくっていききたい。

Q 市民協働を実践する際の職員意識の醸成は。

A 協働のまちづくり推進庁内ワーキンググループを設置、市民協働基礎講座等を行い課内で共有し職員意識醸成を図っている。

Q 駅前広場も整備されるが、自由な発想で行ってみたい、やってみたい公園活用の方向性は。

A 今後は緑とオープンスペースが持つ多機能性を最大限に引き出すことを重視するステージに移行すべき、公園の持つ個性やポテンシャルを生かし地域の財産となる公園にしていく必要がある。市民自ら考えるイベントは、新たな公園活用のアイデアを生み出す一つの手段であるので、利用については柔軟に対応していく。

他に「電子図書館導入」、「街路樹の美しい街」について質問しました。



おがさセントラルパーク

浜岡原発再稼働の考えを問う

織部 光男（無所属）



Q 福島第一原子力発電所事故の現状をどのように捉えているか。

A 福島第一原子力発電所事故により故郷、ふるさとに帰ることができない住民の方もおり、原発事故はあつてはならないことであるため、浜岡原子力発電所に隣接する市として国や事業者それぞれの責任において、しっかりとした安全対策を図っていただくよう働きかけていく。

Q 電源構成比における原発の望ましい比率は。

A 安全性の確保や需要と供給のバランス、環境への影響、経済性等について幅広く議論すべき問題であり、エネルギー政策は国策であることから、国が国民の理解を得る中で判断すべきと考えている。

Q 掛川市には、掛川市自治基本条例と常設型住民投票制度があり、菊川市にもなくてはならないものだと思うが、市長の考えは。

A 市民と行政との協働によるまちづくりを進め、事業決定に至る

プロセスとして、市の重要な計画の策定や事業実施については市民アンケートや外部委員による審議会等の開催、ワークショップ、関係団体へのヒアリング、パブリックコメントの実施など、計画・事業ごとに手法を検討した上で、市民の皆さまのご意見を頂く機会づくりに努めているため、現時点では自治基本条例や住民投票制度を制定する計画はない。

他に「掛川市・菊川市新廃棄物処理施設整備検討委員会問題」について質問しました。



茶業振興を主眼においた観光PR

須藤 有紀（みどり21）



Q 菊川市には豊かな農業資源や歴史、文化がたくさんある。自然環境や歴史、文化を生かした観光業の展望は。

A 多様化している観光客のニーズを踏まえ、個々の観光資源を磨き上げ、テーマごとに観光エリアとして連携させて集客につなげていきたい。先口採択された観光庁の補助事業を活用した深蒸し菊川茶産地ツアー造成事業を実施していく。

Q 茶の海外輸出額は、米、独に続いて台湾が第3位。姉妹都市提携について現状は。

A コロナが収束し安心して交流できる時期が来たら、茶業関係者と協力しながら、手もみ体験などの茶交流事業から再開していきたい。

Q 有機栽培の推進について考えは。

A 国が輸出、有機栽培について大きな目標値を立てている。市内茶商からも行政、JA、生産者に有機栽培への転換を求めるような動きが少しある。有機栽培には現場の様々な課題があり、新たな茶業振興計画を策定する中で、協議会の立ち上げなども視野に入れな

がら協議を進めていきたい。

Q 18歳から29歳の若者の緑茶需要が26%増との発表があった。SNSの活用と同時に、物語と併せた菊川茶ブランドを発信して頂きたいが考えは。

A 飲食店に、菊川茶を使用したドリンク開発のプレゼンをした。その中で、美味しいだけでなく菊川茶の歴史、生産者の思いといったストーリーを発信することで、素敵な商品が生まれるという話を頂いた。

Q 「茶畑の中心で愛を叫ぶ」事業と連携し、愛を込めた手もみ茶を作るといった体験型観光との連携はどうか。

A 実施に向けて検討を始めている。



茶畑の中心で愛を叫ぶ事業

中学校部活動の地域移行

渥美 嘉樹（みどり21）



今回は教職員の負担を軽減しつつも、地域連携という手段によって、部活動の持続可能で充実した環境を整備すべきという立場で質問した。

❶ 菊川市の部活動の現状と課題は。

❶ ここ数年、部活数の削減はないが、団体戦を有する種目が個人戦のみの参加となったり、単独チームが編成できず合同チームで参加する事があった。生徒数や教員数の減少に伴う部活動の維持や、指導経験がない教員の指導負担等に課題がある。

❷ 部活動地域移行の現状と課題、今後の方針は。

❶ 地域の受皿、指導者の質・量の確保、施設の確保、大会の在り方、会費や保険の在り方等、様々な課題がある。関係部署がチームとなり、学校・地域の実態把握や今後の部活動の方向性、休日の部活動の地域移行に向けた推進計画を今年度策定し、段階的なスケ

ジュール等の検討を進めていく。

❷ 課題が多いからこそ、今から一歩ずつ部活動の地域連携を前進させる必要がある。あくまで生徒を中心に、確実な前進をお願いするが、その方針は。

❶ 休日の段階的な地域移行に向けて、関係部署や関係機関と連携調整を図りながら、一歩ずつ着実に進めていきたい。

他に「不登校対応」、「新しい公共交通」について質問しました。

『部活動の地域移行に関する提言』

—スポーツ庁-部活動の地域移行に関する検討会議 令和4年6月交付—

- ◎ 休日の部活動から段階的に地域移行
- ◎ 平日の部活動についても地域移行を想定
- ◎ 地域のスポーツ組織・団体への支援



令和3年度政務活動費収支報告

（単位：円）

会派名 項 目		みどり21	市民ネット	織部光男議員	横山隆一議員	合 計
収 入	交付額	1,300,000	200,000	100,000	100,000	1,700,000
	雑収入	7	0	0	0	7
	計	1,300,007	200,000	100,000	100,000	1,700,007
支 出	調査研究費	0	0	0	0	0
	研修費	50,000	106,880	92,185	0	249,065
	広報費	115,792	93,078	0	100,000	308,870
	広聴費	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0
	資料購入費	240,000	0	0	0	240,000
	人件費	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0
	その他の経費	1,100	0	0	0	1,100
	合計	406,892	199,958	92,185	100,000	799,035
残 余 金		893,115	42	7,815	0	900,972

※ 残余金については、市に返還済です。

「政務活動費」とは：

議員が行う調査や研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、菊川市では議員1人当たり年額10万円を限度に、会派及び会派に所属していない議員へ申請に基づき交付しています。

令和3年度の交付額は次のとおりです。

- ・ みどり21 130万円
- ・ 市民ネット 20万円
- ・ 会派に所属しない議員（2人）各10万円

政務活動費収支報告

議会活動レポート

議会ふれあいミーティング

「語ら座あ」

菊川市議会では、「見える議会・開かれた議会」をめざして議会報告会を開催しました。

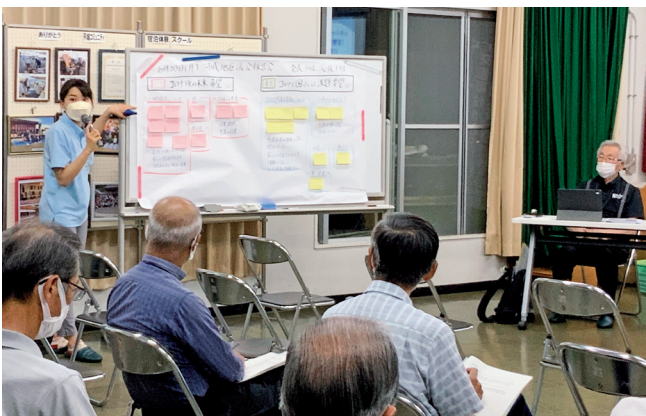
市内11地区ごとに各地区センターを会場にして開催し、最後に全体会を6月25日の土曜日に「プラザきくる」で行いました。各会場とも多くの市民の皆さまに会場いただきありがとうございました。



主な報告内容

- ・市議会の活動報告
- ・総務建設委員会
- ・「菊川駅整備計画」
- ・教育福祉委員会
- ・「保育・教育事業他」
- ・意見交換

参加者からは、「高齢者向けの内容が多いため、子育て世帯に関する課題や状況に注力したら、生産世代に興味を持ってもらえるのではないか」、「行政提案の対策では当たり障りのないものばかりとなってしまうため、議員提案の条例をたくさん作り、特色あるまちづくりを進めてほしい」との提案や「初めて参加したので、今度参加するときはあらかじめ質問や意見等をまとめて参加したいと思います」などの感想をいただきました。



参加された皆さまとの意見交換では、付箋を使い、新型コロナウイルス感染症に対する疑問や要望、そしてコロナ収束後の未来予想をテーマに話し合い、意見の共有が図られました。今回寄せられましたご提言等は、集計・分析を行い、市議会のホームページなどで公表するとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

なお、報告内容の動画は市議会のホームページや下のQRコードからご覧いただけます。

議会報告会

議会基本条例に基づき、議会の活動状況を報告し、議案の審議内容や結果を知ってもらい、市民の皆さまから議会活動に対するご意見やご提言をいただくために毎年開催しております。意見等をいただくことで議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かすことを目的にしています。

市政に限らず、議員と市民の皆さまが自由に情報交換や意見交換する場としています。



議会報告会
YouTube 動画
配信はこちら

令和4年度 議会報告会 配布資料

令和4年度 菊川市議会報告会
議会ふれあいミーティング
「語ら座あ」
～開かれた議会を目指して～

各ページのQRコードで、関連のホームページがご覧いただけます。

議会報告会
YouTube 動画
配信はこちら

1 / 10

みんなの声

皆さまの声より

普段のんびりと暮らしているのも議員の方々や消防隊の方々のおかげだなと感じました。

「DXの推進は市民が使いやすいオンライン申請や最新デジタル技術の活用について研究していく」という文がありました。

働いていると、有休を取らないと行けないので、平日に市役所に行くのも大変です。オンライン申請が進んでくれることを願っております。

傍聴者より

議員質問や市長の答弁などについては慣れているためか、多少ゆっくり話してくれるので理解しやすいのですが、副市長をはじめ担当部課長の答弁は、一般的に早口で年輩の者には、なかなか聞き取りづらい。

こちらも耳が遠い傾向にあるので、仕方ありませんが、傍聴者にも聴きとれるようお願いしたいと思っています。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお寄せください。
もれなく菊川市議会特製“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地
※議会への要望や意見なども受け付けています。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です

議会改革度調査2021

早稲田大学マニフェスト研究所が発表した「議会改革度調査2021」において、菊川市議会は全国総合50位（前年度75位）、静岡県内1位（前年度2位）と過去最高の評価を受けました。

菊川市議会では、ICTの推進や議会改革推進のため委員会設置を行い、これまでの取り組みも含めて評価されたものと思われまふ。

議会改革度調査とは

早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会に対し、前年1年間の議会活動の取り組みなどを調査し、数値化する事でランク付けし公表しております。今回は、回答数1355議会（回答率75.8%）でした。

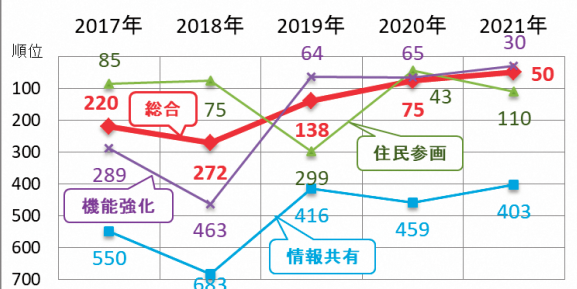
調査の観点は、議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度を数値化し、ランキング化しています。

【調査の観点】

- ・情報共有（本会議などの議事録や交際費視察結果の公開具合と検証）
- ・住民参画（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の徴収）
- ・議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）

今後より良い議会となるよう取り組んでいきます。

議会改革度ランキング推移





きかせてママの声

Vol.26

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

私は、生まれも育ちも結婚した今も菊川市に住んでいます。市内には両親や祖父母もおり、近くには公園や図書館もあり子育てしやすい環境に感謝です。

先日、平川会館で昆虫展がありたくさんのカブトムシに子ども達は大喜びでした。ぜひ来年もよろしくお願いします。

池田有希子 さん



9月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

8月	
31日(水)	議案の提案説明
9月	
1日(木)	議案の提案説明
7日(水)	一般質問
8日(木)	
12日(月)	質疑・討論・採決・委員会付託
29日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決
30日(金)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（35-0941）へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会を傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

編集後記

稲の穂も伸び、緑が美しい季節となりました。そんな今の時期、是非見て頂きたいのが『田んぼアート』。今回、特集にもご協力頂きました。色、品種の違う稲の組み合わせで描かれる絵は、「見事!」の一言。風に稲穂がそよぎ、絵柄がざざめく様は、写真では見られない息遣いを見せてくれます。夏季限定の大自然絵画。ぜひ檣に上ってご鑑賞ください!

末筆ながら改めてインタビューにご協力くださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(編集委員 須藤 有紀)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら

マチイロ



次回の議会のひろばは

11月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに!



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

田んぼアート菊川2022
「虎のコロナ退治
お米を抱いた虎くん」

撮影地：菊川市下内田
田んぼアート会場

